

2. 全体研修資料 (1) 全校研究①

今年度の全校研究のテーマは…

めざせ!子どもが伸びる!
教師も光る!指導と評価
～「指導と評価の一体化」ってどういうこと?～



早いもので、もう7月!
1学期も終わろうとしていますね。

夏休み中に、1学期の授業や子ども達の成長を振り返って評価をしたり、2学期に向けて、授業の準備をしたりしたいですね!




それじゃあ、個別の指導計画とシラバスと…あれ?そういえば、来年から個別の指導計画も観点別になるんだっけ?

でも、各教科の観点別の目標ってどうやって設定してどう評価したらいいんだろう?

そうそう!
イマイチ何がどの観点とかが分からないし、そもそもなんて三つも考えなきゃいけないの?!




研究部では、先生方のそんな困り感を共有して共に学び、考え「困った!!どうしよう?」の解決にアプローチできる研修を目指しています。一緒に学び、考えていきましょう!

はい!





各教科・各段階の育成すべき資質・能力を柱に
全校研究(全6回)

実践 6/30

各教科3分クイズ

7/24, 11/27, 12/22, 1/15

過去3年間の全校研究から出題

- ・「指導と評価の一体化」とは?
- ・支援学校の子どもの各教科の指導で目指すもの
- ・評価規準の考え方について
- ・個別の指導計画とシラバスとの繋がり
- ・個別の指導計画の目標設定と評価について など

育成すべき資質・能力について
観点別評価規準について など

めざせ!子どもが伸びる!
教師も光る!指導と評価
～「指導と評価の一体化」ってどういうこと?～

まずは、今年度テーマにしている「指導と評価の一体化」ってどういうことでしょうか?



1. 「指導と評価の一体化」ってどういうこと?

- ①「指導と評価の一体化」とは
- ②それぞれの役割と繋がり
- ③育成すべき資質・能力3つの柱と3観点
- ④観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義



①「指導と評価の一体化とは」

指導と評価の一体化

↓

指導したことを的確に評価すること

↓

両者にメリット

児童生徒

教師



①「指導と評価の一体化とは」

つけたい力
⇒ 育成すべき資質、能力

Plan
指導計画等の作成

Do
指導計画を踏まえた教育の実施

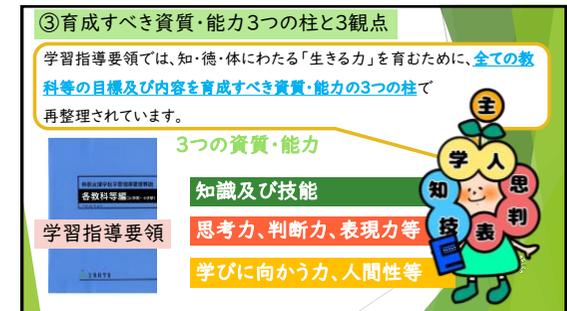
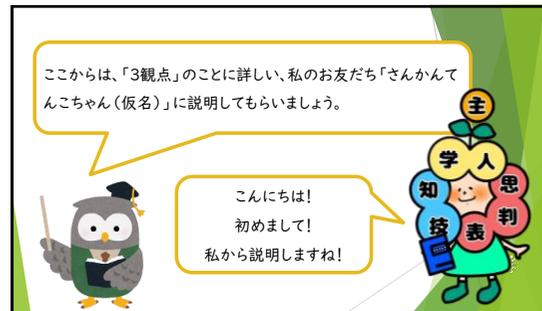
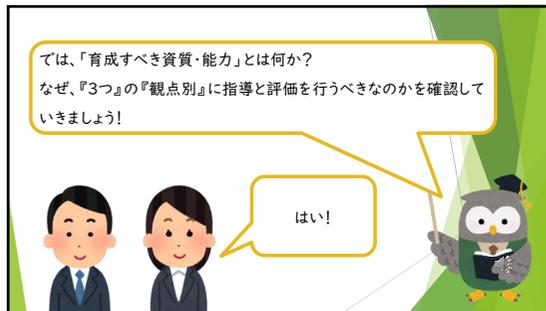
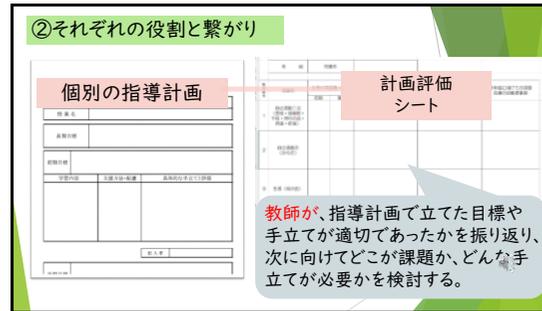
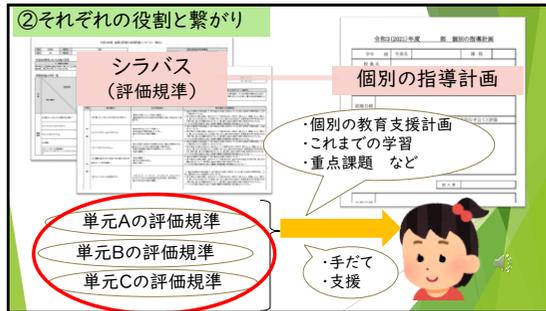
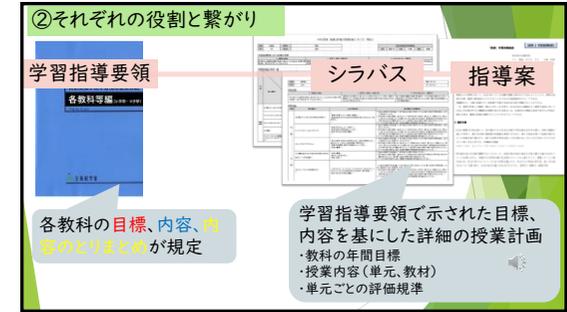
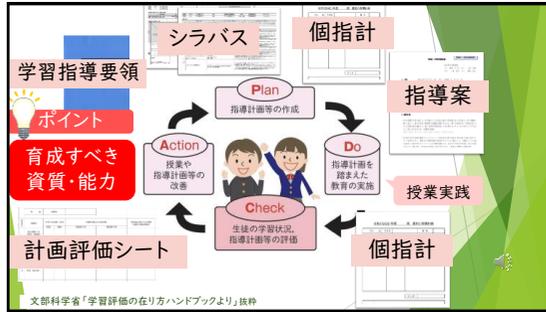
Check
生徒の学習状況、指導計画等の評価

Action
授業や指導計画等の改善



文部科学省「学習評価の在り方ハンドブックより」抜粋

2. 全体研修資料 (1) 全校研究①



2. 全体研修資料 (1) 全校研究①

③ 育成すべき資質・能力3つの柱と3観点

資質・能力の三つの柱

知識及び技能
何を理解しているか、何ができるか

思考力、判断力、表現力等
理解していること・できることをどう使うか

学びに向かう力、人間性等
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

学習指導要領

③ 育成すべき資質・能力3つの柱と3観点

その**資質・能力の三つの柱**での再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価についても、各教科を通じて3観点到整理されました。

観点別学習状況評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

学習指導要領
3つの資質・能力

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

観点別学習状況の評価
3つの観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

シラバス (評価規準)

学習指導要領で目標や内容が三つの資質・能力で示されたから、評価規準も3つの観点になったんですね。

なんとなくわかりましたが、三つに分けて良いことってあるのでしょうか？

では次に、観点別に学習状況を評価する(3観点評価)意義を料理を例えにみていきましょう!

④ 観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

がんばって料理をしました。
食べてもらいました。

※あくまでイメージです。

④ 観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

食べた人の反応は…?

おいしいね!

また食べたい!

※あくまでイメージです。

④ 観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

食べた人の反応は…?

う〜ん 2点

…イマイチだね…

※あくまでイメージです。

④ 観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

どう言ってもらえたら、よかったですでしょうか?

※あくまでイメージです。

④ 観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

具体的に項目に分けて伝えてみましょう。

① 栄養
② 味
③ 盛り付け

※あくまでイメージです。家庭科とは関係ありません。

2. 全体研修資料 (1) 全校研究①

④観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

具体的に項目に分けて伝えてみましょう。

①栄養

栄養バランスがとれてるね。

※あくまでイメージです。家庭科とは関係ありません。

④観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

具体的に項目に分けて伝えてみましょう。

②味

ソースの味が少し濃いね。
もう少し薄いほうが好き。

※あくまでイメージです。家庭科とは関係ありません。

④観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

具体的に項目に分けて伝えてみましょう。

③盛り付け

彩が良いから、食欲が増すね。

※あくまでイメージです。家庭科とは関係ありません。

④観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

こんな風に具体的に伝えてもらえれば…

バランスや盛り付けは◎!
次は、少し薄めに味付けをすればいいのね!

※あくまでイメージです。
*アトム君は、何でもおいしいと感じるから、実際に調理するときは、味付けをもう少し薄めにしてください。

💡 観点別学習状況の評価(3観点評価)の意義

児童生徒にとっては、何が良くて、どこが課題だったのか、
次はどのようにすれば良いのかが、見えます。
そしてそれが
次の学習のめあてとなり、意欲につながります。

教師にとっては、生徒一人一人の学習状況を
分析的に捉えることができ、指導の改善に
生かすことができるようになります。

具体的な項目に分けて子どもの成長や学習状況を捉えていく
のってとても大切なんです。

これは、「子どもが伸びる!」教師も光る!
両者にメリットがありますね!

指導要録

学習指導要領

ポイント

育成すべき
資質・能力

シラバス

指導案

評価計画シート

個指計

なるほど!来年度から個別の指導計画が観点別学習状況の評価
(3観点評価)を行う意義はここにあるんですね!

シラバスと個別の指導計画の繋がりが分か
ると目標や評価の設定もしやすそうですね!

すでに3観点での記述を行っている指導要録の記
述も個別の指導計画の評価を参考にできますね!

じゃあ早速シラバスの評価規準を見直して
みようかな。
まずは「知識・技能」でしょ。
えっと…

2. 全体研修資料

(1) 全校研究①

もしかして…

- 『知識・技能』
- 『思考・判断・表現』
- 『主体的に学習に取り組む態度』

このワードから連想して、
評価規準をゼロから考えようと
していませんか？



では、ここからは、主にシラバスで設定している
「観点別評価規準の設定の仕方」を振り返りましょう！

特別支援学校 小学部・中学部
学習評価参考資料

シラバス
(評価規準)

各教科・各段階の育成すべき資質・能力を柱に



基本的な観点別評価規準の設定の仕方

- ① 評価規準とは？
- ② 基本的な観点別評価規準の設定の手順
- ③ 具体的な設定の例



特別支援学校 小学部・中学部
学習評価参考資料

特別支援学校 小学部・中学部
学習評価参考資料
(令和2年4月 文部科学省)

この資料には、
各教科の各段階ごとの
観点の趣旨
(評価の対象になるものを整理したもの)と
評価規準の設定の仕方
について示されています。



① 評価規準とは？

そもそも評価規準とはどのようなものか
ご存知でしょうか？

評価規準とは、学習指導要領で示された
目標とする資質・能力の実現状況を判断するた
めの評価の「よりどころ」になるものです。

※ちなみに「評価規準」(成長の姿として文章表記したもの)と「評価基準」(評価規準に対して習得状況の程度を示すための指標)は異なるものです。変換ミスにご注意を。



② 基本的な観点別評価規準の設定の手順

- ① 教科の目標を確認 (学習指導要領)
- ② 教科の段階の目標を確認 (学習指導要領)
- ③ 各教科・段階の観点の趣旨を確認 (参考資料)
- ④ 各教科の内容を確認 (学習指導要領)
- ⑤ 観点ごとのポイントを確認 (参考資料)



③ 具体的な設定の例

小学部の生活科は、中学部の社会科、理科及び
職業・家庭科の学習に繋がります。

小学部 生活科

中学部 社会科 理科 職業・家庭科



では、ここから先は、「さんかんでんこちゃん(仮名)」に小学部生
活科I段階の例を通して設定の仕方を伝えてもらいましょう。

任せて!それでは、
私からお伝えしますね。

主
学人
知 学 思
技 表 判
表 示 断



① 教科の目標の確認

学習指導要領
小学部生活科教科目標

1 目標
具体的な活動や体験を通して、生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次とおり育成することを目指す。

知識及び技能
(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等
(2) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。

学びに向かう力、人間性等
(3) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとする態度を養う。

柱書



2. 全体研修資料 (1) 全校研究①

各教科の指導を通してどのような資質・能力を目指すのか明確にする必要がある。

資質・能力や観点名のイメージだけで一律で捉えるのではなく、教科の特質や違いを確認することが大切。

例えば、教科によってこんな違いがありましたね。

- 「学びに向かう力、人間性等」について示されている教科もある。(ほとんどの教科が示されていない)
- 「思考・判断」と「表現」の評価規準が明確に分かれている教科がある。 など。



このように、教科や内容によって異なる部分があるため、目標や評価規準を設定する際には、必ず、学習指導要領や学習指導要領解説で教科目標や段階の目標、内容とその解説、評価の観点の趣旨などを確認することが大切!



評価規準作成のポイント

そして、基本的な評価規準(内容のまとまりごとの評価規準)を作成した上で、**単元・題材の目標に沿った具体的な評価規準を設定**していけるといいですね。



では、クイズです!
配布資料に書き込んでみてね!

【問題】

生活科 単元「あきとあそぼう」の評価規準とあてはまる観点を線で結んでください。

指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料 小学校 生活科 事例 参照



生活科 単元「あきとあそぼう」

知識技能

- 秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもって、校庭や公園の秋の自然と繰り返し触れ合おうとしている。

思考力 判断力 表現力

- 楽しみたい遊びを思い描きながら、校庭や公園の秋の自然の中から遊びに使う物を選んでいる。
- 校庭や公園の秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気付いている。

主体的に学習に取り組む態度

1分

正解は……

生活科 単元「あきとあそぼう」

知識技能

- 秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもって、校庭や公園の秋の自然と繰り返し触れ合おうとしている。

思考力 判断力 表現力

- 楽しみたい遊びを思い描きながら、校庭や公園の秋の自然の中から遊びに使う物を選んでいる。
- 校庭や公園の秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気付いている。

主体的に学習に取り組む態度

クイズはどうでしたか?
皆さん、正解できたでしょうか?

今回の全校研究①(全体研修①)はこれで終わりになります。ここからは、次回以降の全校研究のお知らせをします。



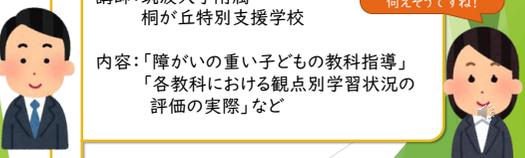
次回の全校研究②は…全体研修!

日時:7/24(月) 15:30-17:00

講師:筑波大学附属 桐が丘特別支援学校

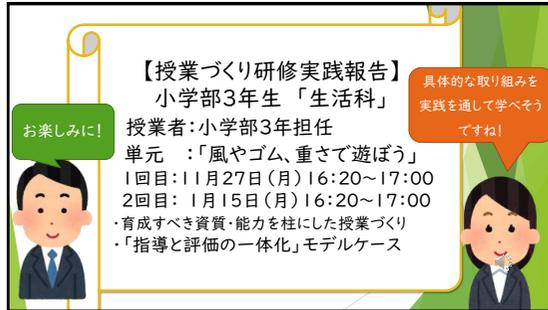
内容:「障がいの重い子どもの教科指導」「各教科における観点別学習状況の評価の実際」など

もっと広く、もっと詳しく 伺えそうですね!



2. 全体研修資料

(1) 全校研究①



【授業づくり研修実践報告】
小学部3年生「生活科」

授業者:小学部3年担任

単元 :「風やゴム、重さで遊ぼう」

1回目:11月27日(月)16:20~17:00
2回目:1月15日(月)16:20~17:00

- ・育成すべき資質・能力を柱にした授業づくり
- ・「指導と評価の一体化」モデルケース

お楽しみに!

具体的な取り組みを
実践を通して学べそう
ですね!

Illustrations of a male and female teacher.

